

高円宮杯 ホッケー日本リーグ 【男子】 第2節 第 4 日

開催日時 6 月 10 日 (日) 会場 親里ホッケー場 天候 曇り

【試合結果】

天理大学ベアーズ 勝点12 4勝	6	$\begin{pmatrix} 4-0 \\ 2-1 \end{pmatrix}$	1	小矢部 RED OX 勝点2 2分2敗
岐阜朝日クラブ 勝点7 2勝1分1敗	3	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 2-1 \end{pmatrix}$	2	Selrio 島根 勝点2 2分2敗
立命館大学ホリーズ 勝点7 2勝1分1敗	3	$\begin{pmatrix} 1-2 \\ 2-1 \end{pmatrix}$	3	福井クラブ 勝点2 2分2敗

天理大学ベアーズ 6 $\begin{pmatrix} 4-0 \\ 2-1 \end{pmatrix}$ 1 小矢部RED OX

勝点 12
4勝

勝点 2
2分2敗

得点	天理→ 2分落合、3分大野、25分小澤浩、32分膳棚、46分三谷元、49分竹部 小矢部→ 66分高橋
戦評	<p>少し肌寒い曇り空の中、小矢部のセンターパスにより試合が開始された。天理は開始早々の2分、小矢部陣内バックラインで#6三谷元のパスをゴール右に構えていた#9落合が落ち着いて先制ゴールを決める。立て続けに3分、#13清水が右サイドからオーバーラップしてきた#2大野にパス。#2大野はドリブルで小矢部DFを抜き去りリバースシュートをゴール左下に決め、2-0とする。反撃を試みる小矢部はPCを獲得するが、天理DF下市らの鋭い出足を崩せず得点には至らない。天理は25分に#11小澤浩が、32分にPCから#14膳棚がフリックシュートをゴール右に決め4-0とし試合の主導権を完全に握り、前半を折り返す。</p> <p>後半も勢いの衰えない天理は小矢部陣内で優位に試合を進める。天理は46分にPCを獲得。#3下市のスイープシュートをGK今度が弾き出すが、リバウンドを冷静に#6三谷元が決める。49分にも#19竹部が決め、6-0とする。一矢を報いたい小矢部は66分に#12高橋が1点を決めるも反撃もそこまで。天理は6-1と大勝し、勝点を12に伸ばした。</p>

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	水谷 吉男
ジャッジ	堀田 光昭		藤村 利道

岐阜朝日クラブ 3 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 2-1 \end{pmatrix}$ 2 Selrio 島根

勝点 7
2勝1分1敗

勝点 2
2分2敗

得点	岐阜→ 23分百成、56分高島、62分高島 島根→ 26分徳江、69分糸原
戦評	<p>島根のセンターパスにより試合が開始された。終始落ち着いた試合展開をする両チームだが、先にチャンスを得たのは岐阜。センター付近で島根からボールを奪いカウンター攻撃を仕掛け、#10辻がドリブルで島根DFを置き去り、シュートを放つが惜しくもゴール左をかすめ外れる。その後も、岐阜の猛攻は止まらない。岐阜は23分にPCを獲得すると、#2百成が豪快なフリックシュートをゴール右に決め先制とする。一方、島根も負けじとPCを獲得。#5徳江がフリックシュート決め試合を振り出しに戻し、前半を折り返す。</p> <p>後半、両チームサークルトップ付近まで攻め込むがチャンスを生かせない。その中岐阜が56分にPCを獲得。#2百成のパスを#9高島がタッチシュートを決め、2-1とリードする。勢いに乗った岐阜は62分にもPCを獲得、またも#9高島がこの試合2得点目となるタッチシュートを決め3-1。猛追する島根は69分に岐阜サークル内で#19糸原が岐阜GK岡部ともつれながらも押し込み1点差にする。結局、岐阜が3-2で勝利し、勝点を6とした。</p>

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	宮川 敏充
ジャッジ	西松 孝治		小原 直也

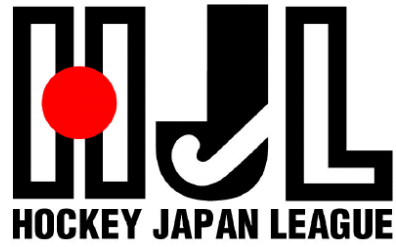
立命館大学ホリーズ 3 $\begin{pmatrix} 1-2 \\ 2-1 \end{pmatrix}$ 3 福井クラブ

勝点 7
2勝1分1敗

勝点 2
2分2敗

得点	立 命→ 24分村上、68分藤吉、69分森
	福 井→ 6分内藤、18分水島、69分為国
戦評	<p>福井のセンターパスにより、試合が開始された。前半6分、福井FW#29内藤がゴール前のこぼれ球を押し込み、先制する。そして18分にも福井MF#20水島がシュートを決め、追加点を挙げる。対する立命も反撃し24分PCを取得、FB#29村上がパントからのスイープシュートをクロスに決め、1点を返す。立命は前半終了間際にもPCのチャンスを迎えるが、得点に繋げることが出来ず、2-1の福井リードで前半を折り返す。</p> <p>後半、両チームは走力あふれる攻防を展開するが、得点には至らない。18分には立命#21高橋に決定的なシュートチャンスが生まれるもののゴールマウスをとらえきれない。負けられない立命は優勢に試合をリードするが#2為国ら福井DFの粘りある守りを崩せない。試合終了間際の立命は68分にPCを獲得すると、#29村上のヒットパスをゴール前に移動した#1藤吉が絶妙なタッチシュートで決め同点にする。沈む福井DFに対し立命の猛攻は続き、69分に#9森が豪快なリバースシュートを決め勝ち越し。しかし、あきらめていなかった福井。試合終了間際にPCを獲得。#2為国が鋭いフリックシュートをゴール右上に決め、3-3のドロー。昨年のチャンピオン立命から今年新加入の福井が貴重な勝点をもぎとった。</p>

テクニカルオフィサー	堀田 光昭	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	中村 康夫		中元 大輔



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【男子】第2節 第4日

開催日時 6月10日(日) 会場 埼玉・飯能市阿須ホッケー場 天候 はれ

【全試合結果】

第1試合 10:00	名古屋フラーテルホッケーチーム	7	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 4 - 1 \end{pmatrix}$	1	山梨学院 OCTOBER EAGLES
第2試合 11:40	東京農業大学	2	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	1	診療印刷
第3試合 13:20	ALDER飯能	5	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 4 - 1 \end{pmatrix}$	1	法政大学
第4試合		0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	

【各試合の結果・詳細】

第1試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 7 $\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 4 - 1 \end{pmatrix}$ 1 山梨学院 OCTOBER EAGLES

勝点 12
勝点 6
4 勝 0 分 0 敗
2 勝 0 分 2 敗

<得点>

名古屋F : 15分川上 29分小野 32分猿養 43分長澤 50分塩川 58分長澤 65分井島
 山梨学院 : 38分原田

<戦評>

名古屋Fのセンターパスから試合開始。15分名古屋FはPCを取得し#12坪内からのパスを#11川上
 がタッチで決め先制。29分には#4小野が右サイドを突破してそのままゴールをあげる。その後も名古屋
 Fの攻撃はゆるまず、32分には左サイドをドリブルであがってきた#11川上のリバースヒットでのセン
 ターリングに、#7猿養のタッチシュートがゴール右上に豪快に決まり3点目をあげる。
 後半の早い時間帯に1点がほしい山梨学院は38分にPCを取得。パントから#9原田のフリック
 シュートがゴールネットを揺るがし1点を返す。対する名古屋Fは43分にPCから#14長澤のフリック
 シュートが決まり4点目、山梨学院を突き放す。50分にはPC崩れから#1小澤のシュートに#8塩川が
 コースを変えて5点目。さらに58分、名古屋FはPCから#14長澤がフリックシュートでゴールを決める。
 その後も名古屋Fの攻撃が続き65分にサークル右サイドから#22井島のスイープシュートが決まり7点
 目を上げ、7対1で名古屋Fが勝利した。

テクニカルオフィサー	近藤 景久	アンパイア	西間庭 浩
ジャッジ	渡邊 希一		成田 健一

第2試合

東京農業大学 2 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$ 1 診療印刷

勝点 6
勝点 0
2 勝 0 分 2 敗
0 勝 0 分 4 敗

<得点>

東農大 : 10分吉田 20分五島
 診療印刷 : 69分横田

<戦評>

試合開始早々から、攻守の切り換えが早いゲーム展開となった。先制したのは東農大。10分、PCから
 #3吉田がゴール右上に豪快なフリックシュートを決めた。攻勢に出る東農大は20分、#2山口の右
 からのセンターリングを#9五島がタッチシュートで決め追加点をあげる。反撃に出たい診療印刷はP
 Cを2回獲得するも、得点には結びつかず2対0で東農大がリードしたまま前半が終了。
 後半に入ると、地力に勝る東農大が、押し気味にゲームを進めPCを獲得するが得点にはつながら
 ない。対する診療印刷はカウンターを中心に攻めあげる。このまま試合終了と思われた69分にカウ
 ンターから診療印刷の#9横田がヒットシュートでゴールを決めるが、2対1で東農大が逃げ切り勝利し
 た。

テクニカルオフィサー	渡邊 希一	アンパイア	塚本 善士
ジャッジ	桜本 一幸		木下 英貴

第3試合

ALDER飯能 5 $\left(\begin{array}{c} 1 - 0 \\ 4 - 1 \end{array} \right)$ 1 法政大学

勝点 9
3 勝 0 分 1 敗

勝点 3
1 勝 0 分 3 敗

<得点>

飯能 : 6分浦前 44分福島 46分塚田 60分北里 68分竹下

法政大 : 53分那須

<戦評>

試合開始からAL飯能のペース、6分にAL飯能がPCを取得、これを#6浦前がフリックシュートで決め先制。この勢いそのままAL飯能が主導権を握り、試合を進めるが決定的なチャンスを活かしきれずAL飯能が1点をリードしたまま前半終了。

後半も開始早々からAL飯能の勢いは衰えることなく、44分AL飯能#8浅見からのパスを受け、#9福島がサークルトップからのリバースヒットシュートで2点目を、46分には#17伊藤からのパスを#3塚田もリバースヒットシュートで3点目を上げる。点がほしい法政大学は53分にPCを取得し、那須がリバウンドを押し込み待望の1点を得る。対するAL飯能は60分にPCから#11北里がスィープシュートで4点目を、68分には北里からのパスを受けたAL飯能#7竹下がヒットシュートで5点目をあげる。法政大学もPCからチャンスを作るが、得点につなげることができず、5対1でAL飯能が勝利した。

テクニカルオフィサー	近藤 景久	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	桜本 一幸		鈴木 茂明